

Ⅱ 2025 年度 事業報告

1. 2025 年度研究助成などに関する事項

- 1) 研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、小児歯科学、口腔衛生学の研究者への助成をする。特に将来とも情熱を持ってこの分野で活躍しようとする若手層の研究者への研究費の補助としての助成である。

A：小児歯科学部門（支給件数：8 件 応募件数：27 件 助成金額：1 件 30 万円）

氏 名	年齢	所 属	研 究 テー マ	推薦者
アリヤス ユウイチ 有安 雄一	30	鹿児島大学歯医学総合研究科小児歯科学分野 助教(大学院4年)	口呼吸に伴う顎顔面形態と咀嚼時における口唇・オトガイ運動の相関性の検討	山座 治義
クサカ サトル 日下 知	31	広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学	環境と安全性に配慮した柑橘果皮由来エキスの小児口腔内の病原細菌種に対する効果の検討	野村 良太
マツオカ ダイキ 松岡 大貴	33	岡山大学病院小児歯科 助教	Streptococcus mutans コラーゲン結合タンパクが関与する IgA 腎症新規発症メカニズムの検討	仲野 道代
トウジョウ フミカズ 東條 文和	33	大阪大学歯学部附属病院小児歯科	新規齲蝕予防法の確立を目指した唾液中抗菌成分の齲蝕病原性細菌に対する抑制効果の検証	仲野 和彦
シラクラ カナ 白倉 佳奈	30	長崎大学発達育成歯科学分野 客員研究員	歯周病菌Porphyromonas gingivalisの2種のジペプチジルペプチダーゼ(DPP)進化プロセスの解明	藤田 優子
アゼソ ユウキ 畔津 佑季	34	昭和医科大学大学院 歯学研究科 歯科薬理学分野 助教	骨吸収抑制薬が歯の発生・萌出に及ぼす影響の解明	高見 正道
ミワ カアイ 三輪 佳愛	30	福岡歯科大学成長発達歯科学講座 成育小児歯科学分野 助教	両唇音構音時の口唇の動きから評価する口腔機能発達不全症診断への取り組み	岡 暁子
ヒライ ケンゴ 平井 研吾	29	東京歯科大学小児歯科学講座 助教	ビスホスホネート製剤が軽症型低ホスファターゼ症の下顎骨に与える影響	新谷 誠康

B：口腔衛生学部門（支給件数：8 件 応募件数：32 件 助成金額：1 件 30 万円）

氏 名	年齢	所 属	研 究 テー マ	推薦者
タニガキ ケイタ 谷垣 慶太	31	大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学講座 助教	舌上皮が発現する硫黄化合物分解タンパクに焦点を当てた口臭症の宿主要因の探索	久保庭 雅恵
ハヤシダ ナオト 林田 尚人	34	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座 助教	Streptococcus gordoniiの善玉作用を活用したプロバイオティクスの開発に向けた基礎研究	田中とも子
イイジマ ユラ 飯島 由羅	32	鹿児島大学大学院歯医学総合研究科健康科学専攻発達発達育成歯科学講座(予防歯科学分野) 助教	歯周病および口腔機能低下症が消化器がんの診療経過に与える影響の臨床的検証	玉木 直文
アンボ サラ 安保 沙羅	27	東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野 大学院 博士課程3年	口腔内プラーク由来細胞外DNAによる歯周病発症機序解明	江草 宏
ナカジマ ユリカ 中島 由梨佳	29	日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座(歯周病学分野) 大学院4年	分野横断型研究による誤嚥性肺炎の病態理解と医科歯科連携推進のためのエビデンス創出	今井 健一
イチノミヤ ミサキ 一ノ宮 美咲	28	徳島大学大学院歯薬学研究部口腔保健福祉学分野 口腔保健学専攻大学院博士後期課程 2年	社会的フレイル改善要因としてのオーラルヘルスリテラシーの可能性—フレイルの可逆性を基盤として—	片岡 宏介
キヌガワ アンナ 衣川 安奈	27	東北大学大学院 歯学研究科国際歯科保健学分野 大学院博士課程4年	歯の痛みと健康関連QOLとの関連の検討: 大規模インターネット調査データを用いた横断研究	小坂 健
ナナシマ ケイイチロウ 七島 慧一郎	32	神奈川歯科大学社会歯科学講座口腔衛生学分野 大学院2年	全国47自治体の高齢者縦断データによるオーラルフレイルの新規該当に関連する個人要因と地域要因の解明	山本 龍生

- 2) 海外留学研究者助成：海外からの日本への留学研究者で、在日6カ月以上を経過し留学期間1年以上で小児歯科学、口腔衛生学・予防歯科学の他、矯正歯科学、歯周病学の研究に従事する研究者への研究費の補助として助成する。

(支給件数：4 件 応募件数：11 件 助成金額：1 件 30 万円)

氏 名	年齢	所 属	研 究 テー マ	推薦者
TASSANAPONG Natcha	28	新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野 大学院2年	Oral Hypofunction Across Borders: A Cross-Cultural Comparison and Public Health Implications among older adults in Japan and Thailand.	小川 祐司
Wang Kewei	27	東京科学大学歯科公衆衛生学分野 大学院	歯みがき以外の追加的なオーラルケアと全死因死亡の関係: Trail Emulation Framework	相田 潤
Sirithiensong Chutip	30	九州歯科大学感染分子生物分野 大学院	Efficacy of spiculisporic acid derivatives in inhibiting cariogenic bacteria	有吉 渉
ZHANG YIXUAN 張 芸萱	27	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野 大学院4年	Effects of Bacillus subtilis on Periodontitis in a Mouse Model	江國 大輔

3) 海外歯科保健医療活動助成：歯科学及び歯科衛生学を学ぶ学生・大学院生が海外での歯科保健医療活動を通じて国際的視野の育成及び交流等による経験を通して医療人としてのその後の活動に貢献する者・団体へ支援助成する。

(支給件数：4 件 応募件数：6 件 助成金額：1 件 15 万円)

団 体 名	代 表 者	事 業 名	団体責任者
歯科医療研究会	東北大学歯学部2年 菊池 沙羅(きくち さら)	台湾での二十歳を中心とした口腔保健意識調査と両国でのフロス推進の方略の開発	小関 健由
国際保健部	日本大学松戸歯学部4年次 高森 麗加(たかもり うららか)	「国際保健部」学生課外活動	竹内 麗理
にじいろデンタル	東京科学大学 2年 高橋 晶(たかはしあき)	台湾における歯科恐怖症患者の実情把握および歯科医療従事者の対応に関する調査	木野 志保
国際医療研究会	東京歯科大学 歯学部3年 豊嶋 紅安(とよしま くれあ)	シンガポールにおける歯科保健医療活動	松浦 信幸

4) 歯科衛生学及び歯科衛生教育学研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、歯科衛生学及び歯科衛生教育学業務の向上につながる研究を助成し、もって社会の福祉に寄与することを目的とし、研究者に研究費の補助として助成する。

A：歯科衛生学部門（支給件数：5 件 応募件数：18 件 助成金額：1 件 20 万円）

氏 名	年齢	所 属	研 究 テー マ	推薦者
オキタ カエデ 沖田 楓	28	神戸常盤大学保健科学部 口腔保健学科 助教	メディカルハーブがマクロファージの炎症応答に及ぼす影響とその制御メカニズムの解明	吉田 幸恵
カヤノ アヤカ 萱野 綾華	31	九州大学大学院歯学府総合歯科学講座 総合診療歯科学分野 歯科衛生士(社会人大学院生)	メンテナンス期の定期歯科受診における口腔機能低下症と心理社会的因子の関連	和田 尚久
シミズ ユイナ 清水 唯菜	23	新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学講座 大学院博士前期課程1年	口腔衛生指導がもたらす一時保護施設入所児のセルフ・エスティーム向上の可能性	早崎 治明
タニ アキナ 谷 亜希奈	39	大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科 講師	高齢者の口腔内QOLを向上させるとともに生体に優しい新規義歯洗浄方法の開発	小正 聡
マエダ シノ 前田 紫乃	32	九州歯科大学口腔保健学科歯科衛生士育成ユニット 助教	含嗽トレーニングは口腔機能を改善させるか	邵 仁浩

B：歯科衛生教育学部門（支給件数：1 件 応募件数：1 件 助成金額：1 件 20 万円）

氏 名	年齢	所 属	研 究 テー マ	推薦者
イケカワ マイ 池川 麻衣	25	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 口腔疾患予防学分野 研究支援員	スポーツ歯科外来臨床実習に対するルーブリックを用いた評価の検討	木野 志保

5) フォローアップ助成：若手研究者を継続的に支援することによる口腔衛生の進展を期し、上記の1) 研究者助成、2) 海外留学研究者助成、4) 歯科衛生学及び歯科衛生教育学研究者助成を受けたことがある研究者に研究費の補助として3年間助成する。

2024 年採択の 5 件に対して 2 年目助成金を支給

(支給件数：5 件 助成金額：2 年目 1 件 30 万円)

6) 学会奨励助成：一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会の運営の一助として助成する。

- ・一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会に各 10 万円を助成

2. 研究報告書の発行に関する事項

2025 年度の研究助成支給者の研究報告書を作成し関係者に配布（2026 年 10 月発行予定）。

3. 会議に関する事項

1) 理事会

① 第 46 回理事会開催

日 時：2025 年 5 月 27 日（火）

議 題：

- 第 1 号議案 「2024 年度事業報告及び決算報告」の承認の件
- 第 2 号議案 「理事及び監事の任期満了に伴う選任候補」の件
- 第 3 号議案 「理事長 1 名及び常務理事 1 名の選任候補」の件
- 第 4 号議案 「第 16 回評議員会開催」の件

報告事項：

- 1. 「代表理事、常務理事の職務執行状況」報告
- 2. 「2025 年度研究助成の応募状況」報告

② 第 47 回理事会（書面決議）開催

日 時：2025 年 6 月 17 日（火）

議 題：

- 第 1 号議案 「代表理事（理事長）選任」の件
- 第 2 号議案 「常務理事選任」の件

③ 第 48 回理事会（書面決議）開催

日 時：2025 年 8 月 18 日（月）

議 題：

- 第 1 号議案 「選考委員会にて選定された研究助成者」の承認の件

④ 第 49 回理事会開催

日 時：2026 年 3 月 5 日（木）

議 題：

- 第 1 号議案 「2026 年度事業計画」の承認の件
- 第 2 号議案 「2026 年度事業予算」承認の件
- 第 3 号議案 「2026 年度公益目的事業の内容について」の承認の件
- 第 4 号議案 「選考委員会規程改訂」の件
- 第 5 号議案 「選考委員改選」の件

報告事項：

- 1. 「代表理事、常務理事の職務執行状況」報告
- 2. 「選考委員増員に伴う定款改訂について」報告
- 3. 「2026 年度研究助成募集について」報告

2) 評議員会

第 16 回評議員会開催

日 時：2025 年 6 月 17 日（火）

議 題：

第 1 号議案 「2024 年度事業報告及び決算報告」の承認の件

第 2 号議案 「理事及び監事の任期満了に伴う選任」の件

第 3 号議案 「辞任に伴う評議員 1 名選任」の件

報告事項：

1. 「2025 年度事業計画及び事業予算」報告

2. 「2025 年度研究助成の応募状況について」報告

3. 「第 47 回理事会における代表理事（理事長）及び常務理事選任の件」報告

第 17 回評議員会（書面決議）開催

日 時：2026 年 2 月 11 日（水）

議 題：

第 1 号議案 「選考委員の増員に伴う定款変更」の承認の件

3) 選考委員会

2025 年度選考委員会開催

日 時：2025 年 8 月 5 日（火）

出席した選考委員が口腔衛生学部門、小児歯科学部門及び歯科衛生学・歯科衛生教育学部門に分かれ、事前に各選考委員が申請書類を基に採点した採点表を参考とし、部門ごとの順位付けを行った。その後、選考委員全員で議論し、慎重かつ公平に応募者の中から研究助成候補者を選定した。各研究助成金の支給者は前述の事業報告書に記載の通りである。

4. 運営体制の充実を図るための取組の概要

当財団では、ガバナンスの強化と業務の適正を確保するため、以下の取り組みを実施しました。

1) 法令等遵守体制

- ・法令遵守を徹底するため、法務関連コンサルタントが配信する動画にて、情報セキュリティ、個人情報管理及び贈収賄防止等に関する学習を行いました。
- ・法令及び規定に関する違反行為につき、外部弁護士への通報・相談を行う体制を持っている。

2) 組織運営の透明性と公平性の確保

- ・当財団は、組織運営の透明性と公平性確保のため、理事 7 名中 5 名、評議員 5 名全員及び選考委員全員に外部の大学教授・有識者を選任し、また監事 2 名はそれぞれ外部弁護士、外部有識者を起用しています。
- ・当財団は、事業計画書、事業報告書、財務諸表の他、理事会・評議員会の議事録など財団の情報を都度ホームページで公開しています。
- ・研究助成の内容につきましては、ホームページでの公表の他、毎年、当該年度の「研究助成者報告書」を発行し、関係者、関係機関に配布しています。

3) リスク管理体制の整備

- ・組織運営、経理業務の確認業務及びホームページ管理業務の一部を外部に委託し、また、経理規定・資金運用規定を制定し、これらを遵守することでリスク等の低減に取り組んでいます。